

大野市子ども読書活動推進計画(第四次)策定の進捗状況について

1. 計画(第四次)の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもののひとつです。

大野市教育委員会では、平成19年5月に「大野市子ども読書活動推進計画」、平成24年3月に「大野市子ども読書活動推進計画(第二次)」を平成29年3月に「大野市子ども読書活動推進計画(第三次)」を策定し、子どもの読書活動を推進してきました。

その結果、平成22年度からは*ブックスタート事業が行われるようになり、乳幼児から絵本を介して言葉がけの大切さや、豊かな時間を過ごす楽しさを伝えてきました。また、保育所、認定こども園、小学校、児童センターでの読み聞かせも定期的に行われ、読み聞かせボランティアの活動も活発に行われるようになりました。

しかしその一方で、小学生では読み聞かせてもらう読書から、自分で読む読書への移行が難しく、家庭で読書をする児童としない児童の格差が広がっています。また、情報メディア機器の普及によって、スマートフォンやタブレット端末等の利用の低年齢化が進み、家庭における読書時間の減少が懸念されています。そして、1か月に1冊も本を読まない高校生の割合は増加を続けています。

国においては、高校生の読書について改善を目標に平成30年4月、新たな「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を定めました。また、福井県においても令和2年3月に「第3次福井県子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

大野市でも、「第六次大野市総合計画」や「大野市教育大綱」で、学校や図書館と連携しながら家庭での読書活動の推進が必要とされています。このため、これまでの取り組みや成果、子ども達の読書を取り巻く状況の変化や課題に対応しながら、「大野市子ども読書活動推進計画(第四次)」を策定します。

*ブックスタート:1992年にイギリスで発祥した取り組み。大野市に生まれた全ての赤ちゃんに、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットにして手渡す活動。

2 計画の目標

(1) 家庭における読書活動の推進

家庭での読書の大切さを啓発し、家族みんなで読書を楽しむ環境づくりを進めます。

(2) 読書環境の整備

子どもが自主的に読書を楽しめるよう環境の整備と人材育成を進めます。

(3) 読書に親しむ場や機会の提供

家庭・地域・学校・行政が連携協力しながら、子どもの発達に応じた質の高い本を届ける取り組みを進めます。

3 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5ヵ年とします。

2. 計画策定の進捗状況

第1回委員会 6月4日(金)

委員長 : 竹内由美 氏 副委員長: 末永克子 氏

内容

大野市子ども読書活動推薦計画(第四次)の改定について説明

① 現計画(第三次)の推進状況と課題

② 新計画(第四次)の内容について

新たな取り組み

・これまでの対象者(0歳から15歳・中学生まで)を(0歳から18歳・高校生まで)に変更する。

・子どもの読書のバリアフリーについて盛り込む

第2回委員会 8月20日(金)

休会(緊急事態宣言により)

第3回委員会 10月1日(金)

① 読書のバリアフリーについて、「誰もが読書ができる社会を目指して」文部科学省、厚生労働省資料に基づき説明

② アンケート調査について、各団体の様式について検討

10月初旬 市内全こども園、小中高校、公民館、児童センター、奥越特別支援学校にアンケート依頼

10月下旬 アンケート回収

第4回委員会12月3日(金)

① アンケート調査結果について

② 新計画(第四次)について策定案を基に検討

2. 今後の予定

第5回委員会 令和4年1月13日(木) 策定案の再検討

第6回委員会 令和4年2月4日(木) 策定案の再々検討

2月定例教育委員会に提出

3. 計画案の構成について

第1章 子ども読書活動推進計画策定の趣旨

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の目標
- 3 計画の期間

第2章 子ども読書活動の現状と今後の取り組み

- 1 家庭における読書活動
- 2 保育所・認定こども園における読書活動
- 3 小・中・高等学校における読書活動
- 4 公民館や児童センターにおける読書活動
- 5 図書館における読書活動
- 6 読書バリアフリー

第3章 子ども読書活動推進のための連携・協力

- 1 各関係機関の連携・協力
- 2 啓発・広報

[参考資料]

子どもの読書活動の推進に関する法律(文部科学省)

読書バリアフリー法(文部科学省)

大野市子ども読書活動推進計画策定委員名簿

大野市子ども読書活動推進計画策定委員会開催経過

委員

大野市学校図書館部会(小学校)	竹内 由美(有終東小学校)
大野市学校図書館部会(中学校)	高村 光昭(尚徳中学校)
県立高等学校	宮越 佳代子(奥越明成高等学)
特別支援学校	稲山 立子(奥越特別支援学校)
認定こども園	末永 克子(大野幼稚園)
認定こども園	石田 弘美(上庄こども園)
公立保育園	谷口 美和子(和泉保育園)
大野市公民館	谷 喜美江(和泉公民館)
大野市児童センター	寶居 貴子(北部児童センター)
大野市教育委員会教育総務課	橋本 恵実(教育総務課)
生涯学習・文化財保護課	印牧 公幸(生涯学習グループ)
助言者	田中 智美(福井県立図書館子ども読書推進室長)
事務局	乾 孝子(大野市図書館)
計 13名	